

令和3年度学位記授与式 学長式辞（令和3年3月18日）

春本番の季節となり、今年も新たな旅立ちの日を迎えることになりました。まずは、皆さんが学位を取得し、卒業・修了の日を迎えられましたことを、大学役員、教職員一同心よりお祝い申し上げます。また、ご父母の皆様におかれましては、ご子息・ご令嬢のご卒業を心よりお慶び申し上げます。

さて、皆さんは、本日を期して長い学生生活を終えて、いよいよ社会人としての第一歩を踏み出すこととなります。皆さんが本学で過ごされた最終年度となるこの一年間は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界中がこの未知の脅威をめぐって大きく揺れ動いた時期にあたります。コロナ禍は、世界が常に不安定であり、先を見通すことが困難であることを示す象徴的な出来事でもありました。

こうした変動著しい社会の中を、力強く生き抜くためには、卒業後も学び続ける強い意志が必要です。同時に、日々の仕事にこつこつと取り組む根気強さや我慢強さも求められることになるでしょう。

皆さんが社会に出て最初に行うのは、一見つまらなそうに見える仕事、平凡な作業であるかもしれません。しかし、そこに何か改良の余地はないものかと少しずつ工夫をしてみることがたいせつです。また、さまざまな人から素直に学んで、昨日できなかったことにあきらめることなく挑戦する姿勢が成功の鍵となるはずです。どうか、日々の小さな努力を積み重ねて、豊かな未来を切り開いていってください。本学で学んだ知識や力は、その過程で必ず生きてくるはずです。

さらに成長した皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。何よりもお体に気をつけてお過ごしください。駿河台大学は、いつでも皆さんを応援しています。

本日は誠におめでとうございます。

令和3年3月18日
駿河台大学 学長 大森一宏